

ぱわわ 27号

ぱわわとは？

ぱわ 天白を元気にする**力(パワー)**
わ 地域をつなげる**輪(わ)**と**和める(わ)**たまり場づくり
 そんな思いがひとつになって
ぱわわと名づけました！

発行 社会福祉法人名古屋市天白区社会福祉協議会
 情報紙「ぱわわ」プロジェクト
 〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目301
 原ターミナルビル3階
 TEL:052-809-5550 FAX:052-809-5551
 E-mail:tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp
 http://www.tenpaku-shakyo.com
 編集 株式会社 リベルタ
 〒468-0053 名古屋市天白区植田南3-501パークハイツ103号
 TEL:052-808-0420 FAX:052-808-0421
 E-mail:libertad@mbp.nifty.com

情報紙「ぱわわ」へのご意見、ご感想も
 はがき・FAX・メールにて受け付けています。

視覚障がいその他の理由で活字のままで読むことの困難な人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大図書」等の製作をすることを認めます。



くろ〜ず あっぷ！ 幼児から 高齢者まで

世代間交流で地域がつながる

地域の人たちのつながりを意識した取り組みを行っている八事東学区地域福祉推進協議会。連合子ども会が主催する行事にも協力しています。今回は、参加者同士が世代を超えて楽しく自然に顔見知りになる行事「チャレンジラリー」の様子をお伝えします。

地域福祉推進協議会の事業を中心に、身近な地域の取り組みを紹介しています。第5回は八事東学区です。

地域福祉推進協議会は、地域住民みんなで「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」をめざした取り組みを行うことを目的に、小学校区ごとに設置されている団体です。

「楽しい」の声があふれる会場

「久しぶりに大笑いしたわ〜」と楽しそうなおばあちゃん。「楽し過ぎて暑くなってきた！」と張り切る男の子。秋晴れの11月21日、チャレンジラリーが始まった八事東小学校は、にぎやかな笑い声であふれました。チャレンジラリーは、毎年11月に開催する大人気の企画。幼児から高齢者まで地域の人が集い、運動や遊び、運試しなどのゲームを一緒に行う「ふれあい」の行事です。今年も約300人が参加し、「ペットボトルキック」や「ビッグ輪投げ」、「はし使い名人」など14種目にチャレンジしました。「小さい子どもと一緒にのびのび。楽しませてもらっています」「子どもたちの声を聞きながら体を動かすのがうれしい」「娘が1年生になり初めて参加しました。楽しいですね」と、笑顔がはびこります。

みんなでつくる「ふれあい」

チャレンジラリーは約10年前に始まりました。当初は、経費をまかなうために子どもたちが廃品回収をする努力も。ポスター作りや当日の司会なども、子どもたちの役割です。また「地域のふれあいの事業」にしたいとの思いから、八事東学区地域福祉推進協議会が共催となり、老人クラブや体育指導員など多くの方が協力しています。「若い役員さんが頑張ってくれています。子どもは地域で育てる、みんなで見守る、そのためにも地域のふれあいが大切です」と、八事東学区連合子ども会会長の柊井多津子さん。八事東小学校校長の西田節子さんは「生活の基盤である地域がつながる行事。今後も続いてほしい」と、期待を寄せます。

会長の柊井多津子さん



地域がつながるために

八事東学区地域福祉推進協議会では、ふれあい給食サービスや敬老会、盆踊り大会、のびのびサロン（子育てサロン）などのさまざまな学区行事を通じて、地域の人たちが世代を超えてコミュニケーションを図り、互いに助け合える地域づくりをめざしています。

ここはどこ？



これは昭和57年頃に、天白区内のある場所で撮影された写真です。さあ、どこか分かるかな？ 答えはP.3です。【昔の写真募集中！】

心、穏やかに健康で明るい生活！



社会福祉法人 高坂福祉会
 募集中 介護職員・パート
高坂苑
 天白区高坂町197-1
☎805-0100
 ◆特別養護老人ホーム ◆デイサービス ◆居宅介護支援事業所 ◆ショートステイ ◆訪問介護 ◆訪問入浴 ◆福祉用具 ◆配食サービス
 デイサービスセンター 大根 天白区大根町58 **☎808-8200**
 グループホーム 高坂苑 天白区高坂町196-1 **☎805-1220**
 住宅型有料老人ホーム 平針 天白区平針3-1503 **☎807-3373**
 ホームページアドレス <http://www.takasaka.info/>

社会福祉法人 八事福祉会



◆特別養護老人ホーム 八事苑
 ◆デイサービスセンター 八事苑
 ◆ショートステイ
 ◆居宅介護支援事業所 八事苑
 ◆天白区西部地域包括支援センター
 〈姉妹施設〉特別養護老人ホーム 第二八事苑
☎834-3000
 天白区大坪二丁目801番地
 ・介護職員等を募集しております
 「やさしい心」が何よりの資格です。
 お気軽にお電話ください。
☎834-3000 〈担当〉丹羽

庭に畑・畳のある部屋
「馴染みの暮らし」
 をつづけます
 介護スタッフ 募集中
 くわしくはHPを 見て下さい！
 小規模多機能 ひらばり 天白区向が丘4丁目1001 **☎052-433-5192**
 グループホーム 向が丘 **☎052-433-6111**
 グループホーム ひらばり **☎052-800-0026**
 グループホーム 向の山 **☎052-893-6487**
 小規模多機能 向の山 **☎052-893-6488**
<http://hohoemi33.co.jp>

安江内科クリニック
 YASUE CLINIC
 診療科目 内科・消化器科・小児科
 診療時間
 時間 曜日 月 火 水 木 金 土
 午前 9:00~12:30 ● ● ● ● ● ●
 午後 4:30~7:30 ● ● ● ● ● /
 休診日 土曜午後・日曜・祝日
☎(052) 848-1788
 天白区大根町370(天白消防署西隣)
 地下鉄鶴舞線 原駅 下原
 安江内科クリニック
 天白消防署 天白消防署前



こんなときは ▶ こうしよう!

第5回

こうして
乗り切ろう

子育てのヒント

子育て奮闘中のパパ・ママ。「言うことを聞かなくてイライラする!」「自分の子育てはこれでいいのか?」と、皆さん、いろいろと悩みや不安を抱えています。時にはくじけそうな時もあるのでは? そこで今回は、毎日の子育てを乗り切るヒントをお伝えします。

1 正しい情報 を選ぶ

インターネットをはじめ、世の中にはさまざまな情報が溢れています。その中で信頼できる情報を得て、いかに自分に合ったものを選択できるかがポイントです。ちなみに、天白区社会福祉協議会と天白子ネットが共同発行している“天白子育て情報通信「PAKUっ子」は、思わずうなずいたり、笑ったり涙したり、目からウロコだったり…。読んで損はしません。

2 とにかく 出かける

家で子どもと二人っきり…。ついつい、あれこれ叱っちゃいませんか? そんな時は、刺激がいっぱいの外へ出かけてみましょう。

スーパーでも公園でもどこでもいいけれど、“子育てサロン”もお勧めです。同じ思いをしている人と出会い、アドバイスや情報がもらえる。子どもにとっても、いろいろな友だちと家ではできない遊びができます。

子育てサロンは、主任児童委員や子育て支援グループが開いている身近なサロン、天白区社会福祉協議会が協力している地下鉄原駅真上の「ママカフェ」、大きなイベント「天白おやこ子育て広場」などたくさんあります。

次回の天白おやこ子育て広場は、2月15日(火)10:00～天白スポーツセンターで開催します。



天白おやこ子育て広場 in Summer 2010の様子

3 思いきって 相談する

虐待などの事件で「相談できる人がいなかった」という言葉をよく耳にします。あなたは、子育ての悩みを話せる相手がいいますか?

心細さや寂しさを感じたら、思い切って誰かに話を聞いてもらいましょう。例えば、地域の主任児童委員さん。「関わりたくない、面倒くさい」ではなく、しっかり頼っちゃいましょう。面と向かってはどうも…という方は、保健所をはじめ、いろいろなところが電話相談を受けています。

【主な相談窓口】

○保健所「子育て総合相談窓口」TEL:847-5981 月～金 8:45～17:15

○あいち小児保健医療総合センター「育児もしもしキャッチ」

TEL:0562-43-0555 火～土 17:00～21:00

○「なごやっこSOS」TEL:761-4152 月～金 9:00～16:30

「休日・夜間子ども虐待電話相談」TEL:823-8349 上記以外の休日・夜間他にもさまざまな相談窓口があります。天白区社会福祉協議会までお問い合わせください。

そうは言っても、いつも「楽しくて幸せ」でいるのは難しいもの。悩むのは当然、失敗も当然、しんどいのも当然。それでもやっぱり、子育ては「楽しくて幸せ」。そう感じられる時間を、いっぱい過ごしてほしい。見回せば、あなたの子育ての応援団はたくさんあります。ぜひ、あなたの子育ての“支え”を見つけてください。

ばわわひろば

読者のお便り



介護保険の手続きの流れは?

最近、身体が弱くなり生活に不安を感じるようになってきました。今後、介護保険を使いたい場合、どうすればよいのか全く分かりませんので教えてください。(天白区在住の高齢者)

社協からのコメント

介護保険サービスの利用までの流れは、下のようになります。慣れない手続きがたくさんありますね。まずは地域包括支援センターに相談しましょう。手続きの多くを代行することもできますし、必要があれば手続きが完了する前にサービスを利用することもできます。

1 申請する

区役所の福祉課が窓口。申請には介護保険証が必要です。

2 認定を受ける

区役所職員などがご自宅を訪問し、お身体や生活の様子を伺います。この調査をもとに介護の必要度を判定します。

3 認定結果が出る

申請から30日以内に、区役所から認定結果の通知と介護保険証が届きます。
●要介護1～5 --- 介護が必要な方 介護サービスを利用できます
●要支援1・2 --- 支援が必要な方 介護予防サービスを利用できます
●非該当---お元気な方 必要と認められた場合に介護予防事業を利用できます

4 ケアプランを作る

「要介護」の方はケアマネジャー、「要支援」「非該当」の方は地域包括支援センターと相談しながらプランを決めます。

5 サービスを利用する

まずはサービス事業者と利用契約をします。サービスを利用すると、原則として費用の1割を負担することになります。

疑問や不安、何でもご相談ください。

■天白区東部地域包括支援センター

(植田・原・久方・平針中学校区担当)

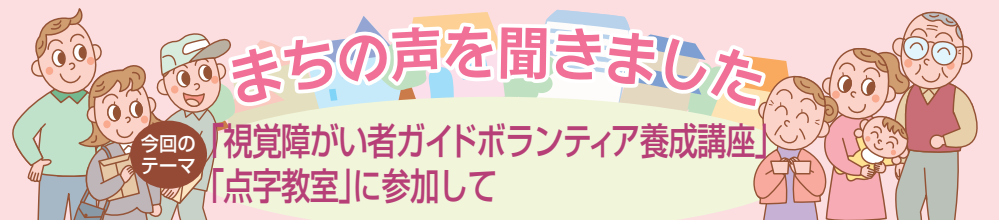
天白区社会福祉協議会内(原一丁目) TEL:809-5555

■天白区西部地域包括支援センター

(御幸山・南天白・天白中学校区担当)

八事苑内(大坪二丁目) TEL:839-3663

読者の皆様のご意見やエピソードなどを募集しています。情報紙「ばわわ」プロジェクトあて、郵送またはメール、FAXにてお送りください(連絡先は表紙上部に記載してあります)。文字数は300字以内でお願いします。なお、掲載にあたっては、意味を損ねない程度に編集する場合があります。



まちの声を聞きました

「視覚障がい者ガイドボランティア養成講座」
「点字教室」に参加して



(ガイド参加 M.Kさん 60代 女性)

身内に障がい者がいるので、ガイドの方法を身につけたいと思い参加しました。体験の中で階段を下るときは大変不安でした。



(ガイド参加 M.Kさん 20代 男性)

今年の夏、介護実習に行ったときに自分のふがいなさを感じていたので講座を受けました。実際にやってみると難しく、ガイド時にかける言葉の重みを感じました。



(ガイド参加 A.Eさん、W.Iさん 20代 女性)

視覚障がいの方への支援に関心があって、誘い合って参加しました。実際にアイマスクで体験して日常生活の難しさが良く理解できました。



(ガイド参加 T.Mさん 60代 女性)

いろいろと体験してみても、実際にできるかどうか不安な場面や大変なこともありましたが、また参加したいと思いました。

◎街で視覚障がいの方を見かけ、接し方を知りたいと思っていたところに講座の情報を知り受講しました。アイマスクの体験では、思っていた以上に怖さを感じました。(ガイド参加 T.Kさん 30代 女性)
◎“ボランティア”という言葉に惹かれて参加しました。参加して良かったです。(ガイド参加 M.Aさん 女性)
◎10年前、駅前道に迷っている視覚障がいの方を案内したことがきっかけでガイドボランティア講座に参加しました。そのつながりで点字も知っていると良いと思い点字教室にも参加しました。ガイドの講座の時に「きっかけの勇気を作りましょう」と教わりしました。“百聞は一見に如かず”です。(ガイド・点字参加 S.Yさん 40代 女性)

◎主人が目が悪く不自由な思いをさせてしまった経験がありました。いろいろと参考になりました。(ガイド参加 K.Hさん 50代 女性)
◎兄が病気でだんだん目が見えなくなっているの、役立つこともあるのではないかと参加しました。点字が6個の点でできていることを初めて知りました。(点字参加 M.Uさん 30代 女性)

◎点字は、街中でよく見かけるので、仕組みが知りたくて受講しました。点字の奥の深さ、相手を思いやって打つことの大切さを学びました。(点字参加 S.Aさん 50代 女性)

◎今まで点字に関心はなかったのですが、たまたま開催チラシを見て、点字がどんな世界なのかまったくわからなかったの、知りたくて参加しました。(点字参加 N.Mさん 40代 女性)

体験利用 見学 随時受付中

野並デイサービスセンター 天白区福池2丁目340番地
http://www.nohonoho.com/index.html nonami.f@yk.commufa.jp

・希望される方
(介護認定を受けた方)は
体験利用(食費400円のみ)で
ご利用できます。

・見学を希望される方も
お気軽にお電話下さい。



隣接する
野並保育園の園児との
自然な交流が
笑顔呼びます。

☎896-3434

名城育ちの達人を
社会に送り出す

中部地区で
5つの
No.1

出身大学別社長数
一級建築士合格者数
警察官採用数
オープンキャンパス参加者数
同窓会会員数

出典:大学ランキング 2011 朝日新聞出版

名城大学

天白キャンパス TEL:468-8502 名古屋市中区瑞穂1-501 TEL:(052)832-1151
八事キャンパス TEL:468-8503 名古屋市中区八事山150 TEL:(052)832-1151
可児キャンパス TEL:509-0261 岐阜県可児市虹ヶ丘4-3-3 TEL:(0574)69-0100



「ふれ愛ネット天白」のメンバー紹介

障がい者関係団体や福祉施設、ボランティア団体などが中心となって「だれもが安心して暮らすことのできる天白区」をめざして活動している「ふれ愛ネット天白」。今号もメンバーを紹介します。

作業所型地域活動支援事業所 **ゆいま～る**

当作業所には心の病を持つ方を始め、発達障がいの方、知的障がいの方がいます。昼の居場所や、将来的には働きたい方が多く、アットホームな作業所です。
ボランティアさんと共に文房具関係の仕事、ソフトボールの練習や年3回の地域住民との交流戦、農場体験、料理教室等を行っています。法人内の別の施設では、企業体験やハローワークの同行もしています。
利用者・ご家族の希望に合わせながら、将来の目標に向かってお手伝いをさせていただきます。
※見学希望の方は、TEL:899-2668まで、お問い合わせ下さい。

特定非営利活動法人 **あたたかい心**

理念[支えあうと、ひとはもっと、幸せになる]
一人ひとりの利用者様に「あなたを大切にしたい」という思いが伝わればいい。ふかふかの毛布にくるまれた気持ちになれたり、日なたぼっこをしているように和んだり…「利用者が一番してほしいことは何か」100人いれば100通りの願いがある。そのために「くらし助け合い活動」にも力を入れています。誰しも「今だけ助けて!」「ちょっとでいいから手伝って!」という時があるもの。「お役に立ちたい」の一心で信念を持って活動しています。
TEL:800-5231 FAX:800-5234

問合せ先 : 「ふれ愛ネット天白」事務局 (天白区社会福祉協議会内) TEL:809-5550 FAX:809-5551

答え【仏地院】

写真提供: 仏地院

ここはどこ?



答えは、音聞山の仏地院です。境内に、樹齢100年の銀杏などの立派な木々に囲まれた土俵があり、昭和37年頃から二子山部屋が、現在は花籠部屋が大相撲名古屋場所の宿舎として利用しています。写真には当時の横綱だった二代目若乃花(後列左から2人目)、後に横綱となる隆の里(後列右から2人目)が写っています。
土俵から振り返ると、人々のふれあいの輪を願う「ふれ愛観音堂」が佇んでいます。観音様にふれたとき、隣の保育園から子どもたちの元気な声が聞こえてきました。

天白区内の昔の写真を募集しています。掲載させていただいた方には、500円分の図書カードを進呈します。

この指とまれ! ボランティア・イベント情報

ボランティア イベント

1 音訳ボランティア養成講座

地域の情報をCDなどに録音して、視覚障がい者に届ける「音訳」。音訳の方法を学び、あなたの声で情報を届けませんか?
■日 時: 2月8日(火)、15日(火)、22日(火)、3月8日(火)の4回連続講座 10:00~12:00
■会 場: 天白区在宅サービスセンター研修室 (地下鉄原駅真上3階) 2月15日のみ天白生涯学習センター視聴覚室
■費 用: 500円(保険・資料代)
■定 員: 20名(先着順)
■申 込: 1月31日(月)までに電話またはFAXにて
■主 催: 音訳ボランティアグループ「天白ハッピーボイス」天白区社会福祉協議会
■問合せ先: 天白区社会福祉協議会 担当/兼松 (連絡先は本紙1面上部に記載)

1 ボランティア交流会

楽しく交流を深めながら、ボランティアに関する情報を交換したり、悩みや疑問を相談し合ったりできるイベントです。新たな活動のきっかけやつながりが生まれるかも!
■日 時: 1月30日(日) 13:30~15:30
■会 場: 天白区在宅サービスセンター研修室 (地下鉄原駅真上3階)
■費 用: 無料
■定 員: 60名(先着順)
■対 象: ボランティア活動をしている方、ボランティア活動に関心がある方
■申 込: 1月18日(火)までに電話またはFAXにて
■問合せ先: 天白区社会福祉協議会 担当/通木(つうき) (連絡先は本紙1面上部に記載)

1 シーンボイスガイド付き映画上映会

シーンボイスガイドは、視覚障がいがある方も、ない方も一緒に映画を楽しむことができるように、映画の流れに沿って場面の情報を声で伝えていくガイドです。今回は、映画「子ぎつねヘレン」を上映します。
■日 時: 12月19日(日) 13:30~15:30
■会 場: 天白区在宅サービスセンター研修室 (地下鉄原駅真上3階)
■費 用: 無料
■定 員: 50名(先着順)
■申 込: 12月17日(金)までに電話またはFAXにて
■主 催: ボイス・ケイン天白 天白区社会福祉協議会
■問合せ先: 天白区社会福祉協議会 担当/磯村 (連絡先は本紙1面上部に記載)

1 講演会・落語「認知症の予防」「笑って脳を活性化しよう」

天白区地域包括ケア推進会議の認知症専門部会主催の講演会。第1部はとんぼヶ丘クリニック院長の神部佳子さんの講演、第2部は俳優・落語家の雷門福三さんの落語です。
■日 時: 2月3日(木) 13:00~15:00
■会 場: 天白区在宅サービスセンター研修室 (地下鉄原駅真上3階)
■費 用: 無料
■定 員: 100名(先着順)
■申 込: 前日までに電話またはFAXにて
■問合せ先: 天白区東部地域包括支援センター 担当/濱田(はまだ) (TEL:809-5555 FAX:809-5551)

お知らせ ボランティア活動をされる皆様へ

ボランティア活動中の万が一の事故に備えて「ボランティア活動保険」にご加入ください。

「ボランティア活動保険」は、ボランティア活動中のご自身のケガ(傷害事故)と他人にケガをさせてしまった、他人の物を壊してしまった(賠償事故)などの事故を幅広く補償する保険です。安心して活動するためにも、ぜひご加入ください。

補償期間: 毎年4月1日から翌年3月31日 (年度途中の加入もできます)

保険掛金: 250円から (プランにより掛金が異なります)

※行事ごとに加入するタイプの「ボランティア行事用保険」もあります。

保険のお申し込みやお問い合わせは、天白区社会福祉協議会ボランティアセンターまで。詳細は、愛知県社会福祉協議会のホームページでもご覧いただけます。

<http://www.aichi-fukushi.or.jp/intoro/somu/hoken.html>

皆さんからの問い合わせ、お待ちしております。



社会福祉法人 天白原福祉会

特別養護 老人ホーム 千寿乃里

事業 ● 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 定員60名
内容 ● 短期入所生活介護(ショートステイ) 定員15名

天白区原三丁目1905番地
見学を希望される方、お気軽にお電話下さい。 ☎847-2941
<http://sky.geocities.jp/senjunosato/index.html>



「ねこ」とのお見合い会

「ねこ」トラブル相談会

12/18⑤13時半~15時半
天白生涯学習センターにて

「ねこ」の預かりさん募集

委細面談 ☎080-3282-9026
天白トラブルゼロ!? 富田



万全のアフターサービス 24時間完全管理

マンション入居者 募集中!

マンション・店舗・倉庫・事務所など

親切、ていねいな当社にご相談ください。

住環境良好、新築・1ルーム多数有り!

モデルルーム有り カーテン照明器具プレゼント!

紹介キャンペーン実施中! 詳しくは店頭までお問い合わせください。



本州建設株式会社

本社 ● 名古屋市天白区原五丁目1401番地 ☎(052) 803-8123(代)
名東支店 ● 愛知郡長久手町戸田谷1024番地 ☎(0561) 63-1123(代)
港支店 ● 名古屋市港区春田野一丁目205番地 ☎(052) 303-6123(代)
東海支店 ● 東海市富木町伏見一丁目17番7 ☎(052) 604-0808(代)
守山支店 ● 名古屋市守山区瀬古東一丁目1801番地 ☎(052) 792-5123(代)

ホームページアドレス <http://www.honshu.co.jp/>

ぱわわな
子育て
日記

No. 27 メッセージ

今回は、お隣の記事にも関連するかもしれませんが、認知症や障がいのある方を支え続ける周りの人々、ご家族へのメッセージです。

ある親の会でお母さん達に出会うと、前向きで明るい方ばかりです。ところがあるデータで、障がいのある子を育てている母親の疲れの度合いは、通常の人が疲労困ぱいとされる数字よりも、明白に上回っていました。

障がい等の状態は十人十色で、良い日も悪い日もあります。突拍子もない事を言って、こちら側を

困惑させる事もあります。いろいろな事が重なって、心がぎりぎり

の時は、迷わず周りにたくさん声を出しましょう。助けてくれる人は必ずいます。

私の好きな歌に“友がみな我よりえらく見ゆる日よ 花を買いか来て妻としたしむ”という石川啄木の歌があります。心が疲れた時はお花でも買って、心を和ますのも良い手です。愛する大事な人の笑顔の為に。(ひだまり)

No. 18 「認知症の人の世界を知る(その15)」
“なじみのものから広げる昔の思い出”

グループホームにお住まいの82歳のHさんは、認知症をお持ちのおじいさんです。Hさんは普段、散歩以外に興味を持つものがほとんどありませんでした。スタッフはHさんの心を動かそうと常々努力していますが、うまくいきません。そんなある日、紙風船を使うレクリエーションがありました。

最初、紙風船にも興味を示さなかったHさんですが、ある時突然、あるおばあさんのところに行き、紙風船で一緒に遊び始めたのです。よく見るとHさんは、小さい子どもを諭すように、おばあさんに

遊び方を教えたりしていました。

Hさんは昔、よくお孫さんと様々な遊びをしていたそうです。そういえば、おばあさんは紙風船を落としたり潰したり。そんな姿が、Hさんにはお孫さんと遊んだ頃の記憶とつながったのでしょう。皆さんも、なじみのものから昔の思い出を話してみませんか？

そのお話は、きっと認知症の方の生活を豊かにしてくれることでしょう。(モカ)



ぱ・わ・わ・ひ・ろ・ば

天白の井戸端
今回のお題「街」たくさんのご応募
ありがとうございました！

今回、その中から選りすぐりの7点を選ばせていただきました。

- | | |
|-----------------------------|----------------------------------|
| 街の中スカイツリーを写す川
(宮田ゆり子さん) | イケメンにティッシュをもらう街の角
(シゲノ・マサコさん) |
| 住民が知恵を出し合う街づくり
(みさ・ゆずさん) | 敷き詰めた落葉の上に道があり
(井上まさん) |
| 街歩き昔をしのび歴史知る
(伊藤由紀子さん) | 戦後の街復興の街共に生き
(高橋幸子さん) |
| 秋霖に街樹散りて冷え冷えと
(山口和子さん) | 次回のお題「城」
締切:平成23年2月1日(火) |

編集
後記

この情報紙を作るにあたり、私も参加させていただき、福祉というものに対し多少の知識を得ることができました。多くの人が、お年寄りや身体の不自由な方々に、さまざまなケアをされていることはもちろん、思わぬ分野で活動するボランティアもあると知りました。どうか皆様方も、何かでお困りの時は本紙を活用いただき、ご相談されることにより解決の道が開かれるかと存じます。(ラウ)

問合せ先 社会福祉法人 名古屋市天白区社会福祉協議会 情報紙「ぱわわ」担当 兼松
〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目301番地 原ターミナルビル3階
TEL:809-5550 FAX:809-5551 E-mail:tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp

しゃきょうからのお知らせ

「住み続けたいまち天白」を
一緒に作りませんか？ 賛助会員募集!!

賛助会員は、天白区社会福祉協議会が行う天白区の「福祉のまちづくり」事業を支援していただける方で、どなたでも会員になっていただけます。

賛助会員の皆さまからの賛助会費は、子育て支援事業、障がい者支援事業、小学校等での福祉体験事業など、「住み続けたいまち天白」をめざした取り組みの貴重な財源として活用させていただいています。皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。

※詳細やお申し込みは、下記までお問い合わせください。本会ホームページの「天白区社会福祉協議会からのお知らせ」ページでもご確認ください。

個人 1口 / 1,000円 (年額) 法人 1口 / 5,000円 (年額)

連絡先 社会福祉法人名古屋市天白区社会福祉協議会
TEL:809-5550 FAX:809-5551
ホームページ <http://www.tenpaku-shakyo.com>



次の方々より天白区社会福祉協議会にご寄付いただきました。厚くお礼申し上げます。天白区の地域福祉推進に有効に活用させていただきます。(平成22年8月1日から平成22年10月31日受付分 受付順)
○八事東学区盆踊り委員会 様 ○名古屋ヤクルト販売株式会社 様
○日本民謡研究会 豊寿会 様 ○伊藤 繁子 様 ○匿名 4件

一緒にみちくさしませんか？

住みなれた環境の中で大切な時間を過ごす。家庭的で笑いのあふれるわたしたちのハロウへ。

認知症対応型通所介護

11名定員の小規模な事業所です。認知症の方たちに安心して在宅での生活を送ってもらえるようにご支援します。認知症のご相談もお気軽にどうぞ。

介護相談、随時
受け付けしています。
介護職員募集中!!

デイサービス ケア・マネージメント 指定地域密着型サービス事業所
みちくさ TEL 800-2141 FAX 800-2148
天白区植田1丁目2130サンメン植田102

毎日のお食事、
お困りではありませんか？

ニコニコキッチンが、皆様のお手元に1食からお届けします。(介護保険適用出来ず)



ニコニコキッチン天白・緑店
TEL 805-2507
FAX 805-2514
名古屋市中平区中平5丁目614 ハイム原南1-A



なじみの仲間やスタッフに
囲まれて…
木のぬくもりに包まれた
癒しの空間。

住み慣れた町で、笑顔の毎日を。ライフケアグループ

デイサービス ライフケア 久方
〒468-0034
名古屋市中平区久方一丁目140
☎(052)809-3555
<http://www.kk-lcs.co.jp>

小規模多機能ホーム ライフケア 山根
〒468-0038
名古屋市中平区山根町202
☎(052)847-3326
e-mail lifecare@kk-lcs.co.jp

SUNSHINE SAKAE
www.sunshine-sakae.jp
地下鉄栄駅③番出口直結

名古屋栄×観覧車

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3丁目24-4 TEL: (052) 310-2211

可能性をみつめて

社会福祉法人平針福祉会 地域活動支援センター

みーる平針 TEL 808-2240
FAX 808-2240
名古屋市中平区高島2丁目704番地

手づくりクッキー

Cafe ハンガバード

- 常時10種類以上
- 季節商品販売 (ホワイトデーセットなど)
- 贈答用(5個1,200円から)承ります

☎ 808-3613

天白区池場3-408(満口)交差点より北へ、4つ目の交差点を右
【営業時間】平日8:30~17:00 ☆ランチタイム11:30~13:30

人とのふれあいと、心の豊かさを大切にします

◆介護に関する御相談は
☑ 居宅介護支援事業所へ
◆ショートステイ、デイサービスの利用も出来ます
☑ (併設: 養護・特別養護老人ホーム)

誠和荘 ☎781-2859
天白区植田山2-101